

第11回飛島クリーンアップ作戦

速報

風薫る5月、みんなの“想い”を結集し、田下の海で大奮戦！

豊かな自然に恵まれ絶好の観光スポットとなっている山形県唯一の離島「飛島」。一方で大量の漂着ゴミが流れ着き、環境悪化が深刻になっている。こうした中で、「日本の渚百選」にも選定された美しい海岸を取り戻すためのクリーンアップ作戦が、今年も5月28日（土）に飛島西側の田下海岸で開催された。

官民産学の多様な協働のもと実施してきた本事業も11年目を迎え、今年も24時間テレビチャリティ委員会の協賛のもと、清掃活動が行われた。

庄内地域はもとより、県内内陸部、さらに、飛島と交流のある新潟県粟島関係者、秋田、宮城の各県から集まった約180名のボランティアが、昨年7月に就航した新定期船「とびしま」で飛島に渡った。島民約60名とともに、約240名が“飛島の海をきれいにしたい”と気持ちを1つにしてクリーンアップ作戦を繰り広げた。その中には、吉村山形県知事の姿もあった。

例年の清掃活動により、海岸のごみの量は減少しているものの、この冬の荒天により、大陸から漂流・漂着したと思われるプラスチック類や発泡スチロール、漁網やロープなどは絡まって堆積している状況だった。



心配された雨も活動を開始する頃には止み、回収したゴミは、島民の協力により漁船にて法木港に”搬送”した。

参加者の一致団結した清掃活動により、予定よりも広い範囲で清掃活動を行うことができた。集めたゴミはトンパック53袋、推定約7トンとなった。

清掃終了後、参加者は漁協女性部の皆さんが準備してくれた、ほっけのつみれ汁、いか焼き、アラメの煮つけといった飛島の料理に舌鼓を打った。

五月最後の土曜日。今年もまた、飛島からさわやかな風が吹いた。

【参加者の声】

- 島がきれいになるのが見て分かりました。飛島に来る機会ができて、たくさんの方と交流ができてよかったです。（20代女性）
- ハヤブサがいました。ステキな飛島の地図をありがとうございます。（30代女性）
- スタートした頃の魚網の山は、今はなく、活動の成果を感じます。（50代女性）
- ゴミのリレーが終わった後、ふと陸の方を見た時、海岸が前とは見違える程きれいになっていて感動しました。（60代男性）

●この事業は「24時間テレビ・山形放送」の協賛を受けて実施されました●

●実行委員会構成団体●

NPO法人美しい庄内
NPO法人庄内海浜美化ボランティア
NPO法人パートナーシップオフィス
社団法人山形県産業廃棄物協会
藻場再生研究クラブ東北公益文科大学
飛島コミュニティ振興会
海上保安庁酒田海上保安部
酒田市
山形県庄内総合支庁
●協賛●
24時間テレビ・山形放送

★発行日：平成23年5月28日（土） ★発行：第11回飛島クリーンアップ作戦実行委員会